



あぐい議会 だより

No.190

令和3年8月1日発行



P2・3 議長就任あいさつ・議会新体制
P5 常任委員会レポート
P12 議会だより編集特別委員の抱負

P4 主な議決内容
P6～11 一般質問



マチイロ

まちを好きになるアプリ

自治体と地域住民をつなぐアプリ「マチイロ」に『あぐい議会だより』を掲載しています。

新体制で スタート

令和3年5月11日に、
令和3年阿久比町議会
第4回臨時会を開催し、
議長・副議長を選任し、
2常任委員会等の議会
構成を決めました。
令和3年6月9日、
令和3年阿久比町議会
第2回定例会で、監査
委員を選任しました。

議長就任あいさつ



阿久比町議会議長

渡辺 功

議長
渡辺 功

副議長
新美三喜雄

監査委員
瀧塚 政明

5月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長に就任いたしました。身の引き締まる思いであり、その責任の重さを痛感している次第であります。

地方自治の本旨は、議会と町執行部は共に切磋琢磨して、住民生活の向上に努めていくという、いわゆる二元代表制にあります。

私は、議員の任務というのは、三つに大別できると思っています。

一つは、条例等の議案を審議し、結論を出すこと。

二つは、行政を監視し、チェックすること。

三つは、自分の政策を実現するよう努力すること。

この目的を曖昧にすることなく、常に問題意識を持って議会活動を進めることは議員の本分であり、多様化する住民ニーズの変化を的確に把握しながら、町執行部とも連携し、町政の諸課題に有効な政策を推進していきます。

現在、地方自治体には、自己決定と自己責任のもと、効率的で質の高いサービスの提供が強く求められております。

私は、議決機関である議会の長として、バランス感を持ち公平で開かれた議会運営に努め、議会と執行機関との真摯な議論により、阿久比町の更なる発展をめざしていく決意です。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい委員会の構成

(◎印は委員長、○印は副委員長)

総務建設委員会



山本 恭久
澤田 道孝
久保 秋男
◎都築 清子
山本 和俊
○山本 良輔
小柳 みゆき

文教厚生委員会



竹内 強
渡辺 功
大村 文俊
◎石川 英治
瀧塚 政明
○竹内 卓美
新美 三喜雄

政治倫理審査会



石川 英治
都築 清子
◎瀧塚 政明
山本 恭久
○山本 和俊
新美 三喜雄

議会だより編集特別委員会



竹内 卓美
久保 秋男
◎新美 三喜雄
瀧塚 政明
○小柳 みゆき
山本 良輔

議会運営委員会



竹内 卓美
石川 英治
◎山本 恭久
都築 清子
○久保 秋男

知多中部広域事務 組合議会議員

大村 文俊
都築 清子
渡辺 功

東部知多衛生 組合議会議員

石川 英治
都築 清子
渡辺 功

令和3年 第4回臨時会

主な議決内容

会期／5月11日
議案／条例3件、補正予算1件、承認2件

- ・議長選挙
- ・副議長選挙
- ・議席の変更
- ・常任委員会委員の選任
- ・議会運営委員会委員の選任
- ・議会だより編集特別委員会委員の選任
- ・政治倫理審査会委員の選任
- ・東部知多衛生組合議会議員の選挙
- ・知多中部広域事務組合議会議員の選挙

○賛成 ×反対 ー議長

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
議案	24 令和3年度における新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	ー	可決
	25 阿久比町母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	ー	可決
	26 阿久比町新型コロナウイルス感染症に関する安心まちづくり条例及び阿久比町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	ー	可決
	27 令和3年度阿久比町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	ー	可決
承認	1 専決処分の承認を求めることについて(阿久比町税条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	ー	可決
	2 専決処分の承認を求めることについて(阿久比町都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	ー	可決

令和3年 第2回定例会

主な議決内容

会期／6月9日～24日
議案／条例等3件、補正予算2件、同意1件、報告1件

○賛成 ×反対 ー議長

番号	件名	竹内強	小柳みゆき	澤田道孝	瀧塚政明	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	新美三喜雄	山本恭久	大村文俊	都築清子	久保秋男	渡辺功	結果
議案	28 阿久比町交通安全条例の一部改正について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	29 令和3年度阿久比町一般会計補正予算(第3号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	30 工事請負契約の締結について(阿久比中学校特別教室空調設置工事)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	31 工事請負契約の締結について(阿久比中学校北校舎2・3階サッシ改修工事)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	32 令和3年度阿久比町一般会計補正予算(第4号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
同意案	3 監査委員の選任について	欠	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
報告	2 令和2年度阿久比町一般会計予算繰越明許費繰越計算書	報告は賛否をとらない														
陳情	1 「保育士の全面パート化につながる短時間勤務保育士の活用促進ではなく、保育所職員の配置基準改善、処遇向上のための必要な措置を求める意見書」提出を求める陳情書															

常任委員会レポート

6月16日に総務建設委員会を、17日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。

総務建設

議案第28号

阿久比町交通安全条例の一部改正

問 罰則規定はないのか。

答 県においても罰則規定はない。

問 条例を押し進めるのであれば賠償責任保険の加入者には加入者証の交付が必要ではないか。

答 かつては交通共済を行政が行っていた時代もあったが、民間の保険の方が多種多様になっており、行政から切り離れた経緯がある。

議案第29号

令和3年度阿久比町一般会計補正予算

問 一般コミュニティ助成事業補助金の採択を受けた白沢地区の事業内容。

答 白沢区民体育館に

スポットエアコン等熱中症対策、区民運動会や文化祭などに使用する備品等を購入予定と聞いている。

問 この助成金制度は他地区でも利用できるのか。

答 毎年7月の区長会において募集し要望があれば申請していただく。

問 ヘルメットの補助金の対象。

答 アンケート調査の結果により、7歳18歳が155人・65才以上が27人で計182人と想定している。

受け付けは7月1日～来年2月まで。既購入の場合は4月にさかのぼって申請できる。ただし、領収書やヘル

メットのSGマークの確認が必要となる。

問 ヘルメットには補助金があるが自転車賠償責任保険に補助がないのは。

答 町単独での補助は広範囲になるので、今後検討する。

問 道路新設改良事業の内容。

答 町道105号線の拡幅用地内の愛知用水が輪荷重に耐えられないので補強する。

(副委員長 山本良輔)



文教厚生

議案第29号

令和3年度阿久比町一般会計補正予算

問 民間保育所運営事業費240万円の予算は、民間保育所から申請のあった金額か。

答 金額については、国の補助金の限度額。

問 放課後子ども環境整備事業費補助金32万2千円は移転費用という事だが、移転費の内訳はどのようなものか。

答 今回新たに作る、げんきッズ草木の改修費用で、内装、増設費用等になる。

問 その費用に対しての補助割合。

答 国・県・町、それぞれ3分の1。

(副委員長 竹内卓美)



ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う

今議会では、6月10日(休)・11日(金)に、5人の議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町政全般にわたって執行機関(町側)に疑問点をたずぬものです。

事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。

持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。次のページから、質疑の概要を1人1ページで掲載しています。

今回の傍聴人数 延べ **24人**

ページ	議員名	質問項目
7	竹内 卓美	1. 災害対応
8	新美三喜雄	1. 補助金の決算審査 2. 総合計画の実行性
9	山本 恭久	1. 新型コロナウイルスワクチン接種 2. 地区公民館のネット環境整備
10	都築 清子	1. ヤングケアラー 2. 旧・家庭系可燃ごみ袋の活用
11	山本 良輔	1. ふれあいの森パターゴルフ場

答弁者



総務部長



民生部長



建設経済部長



教育部長



各議員が質問した記事に関連するSDGsの目標アイコンが掲載されています。

道路調査特別委員会

委員会開催も第3回を数え、「都市計画道路 名古屋半田線」について町建設経済部と継続してヒアリングを行っている。

概ね予備設計も完了したが、高根台地区において、白沢グランドへのアクセス道路及び従来道路との交差点の信号の設置場所について、県警本部及び県建設事務所と協議をおこなっている。住民説明会の開催予定もあり、委員による現地見学を終え、住民意見を尊重できるよう要望を進めていく。

副委員長 新美三喜雄

議会だより編集特別委員会

町民の皆様に紙面をお届けするため、議会で審議された内容や一般質問、委員会の活動等について、原稿を集め、校正、編集している。

この度メンバーが入れかわり、「どのようにしたら町民の皆様に読んでいただけるのか、読みやすい紙面にするには」とアイデアと工夫を交え協議し、全メンバーで編集している。

副委員長 小柳みゆき

災害対応

各課協力して対応する



問 近年の頻発する自然災害に対して、発災後いかに速やかに避難、復旧、復興につなげるかは、その対応にかかっていると言っても過言ではない。特に、応急危険度判定、罹災証明書の発行、仮設住宅の建設は大きな柱になる。

答 地震災害発生後、避難所を開設するには応急危険度判定が必要と認識しているが、発災後3日くらい必要だと説明を受けた。その間の被災住民には、どのような避難を考えているか。

また、判定でざる職員を増やして日程短縮は可能か。

答 総 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、車中泊避難や在宅避難を選択する分散避難の傾向が続くと考えている。

応急危険度判定士の町職員は現在38名。職員の受講と登録を推進していく。

問 今年度、地域防災計画を見直すようだが、旧計画には応急危険度判定の優先順位のような規定はあったか、なければ新計画に盛り込む考えはあるか。

答 総 応急危険度判定は、避難所に指定された建物を優先的に実施し、その後発災状況に応じて災害対策本部で判定を行う地区を設定し実施するため、優先順位を計画に盛り込むことは考えていない。

問 迅速に応急危険度判定をするのが理想だが課題が多い。住民の立場で協力できることはないか。

答 総 建築士等受講資格がある方々に講習会の受講と登録をお願いする。「応急危険度判定」と「罹災証明」のための被害調査は、基準が異なり認定結果に違いが生じることを周知する。

問 復旧、復興に欠かせないのが罹災証明書。被災住民が窓口で申請後、どれくらいの時間が必要か。

答 総 膨大な時間と労力を必要とする業務であることから、他部署の職員を応援派遣し、できる限りの対応をする。

問 デジタル化の中、罹災証明書は押印の問題があるようだが、スマートフォン、PCなど電子申請も可能にできないか。

答 総 今後、庁内における押印廃止と合わせて検討していく。

問 応急危険度判定、罹災証明書発行は、誰が実施しても同じ判定になることが重要。職員の経験・練度をどう評価しているか。

答 総 災害対応を経験したことがない職員が多いため、被災地の応援派遣を経験した職員の報告会、生の声として大変有意義であり、今後も実施する。

各課協力体制のもと、的確な判断と証明書発行が円滑に行うよう職員の育成を継続実施していく。

問 仮設住宅建設は町が用地を提供して、県が建設することが決められているが、町独自の施策は考えているか。

答 総 大規模災害時は、県が災害救助法の適用を受け、建設資材の一括調達を図るため、町が独自に建設着工をすることは難しいと考える。

問 災害復旧・復興は官民協力して対応することが重要。住民のどのような協力があれば復旧・復興の後押しになるか。

答 総 復旧・復興は多くの住民の協力が必要。

その後押しとなるのは、日頃から自らが被災しない「自助」の心構えと、顔が見える地域づくりの「共助」の仕組みを強化することが、被災後の復旧・復興の進捗や住民の円滑な合意形成に寄与すると考えている。



竹内 卓美 議員 (済和会)

補助金の決算審査



交付規則に基づく

問 各種団体の補助金は、その団体の活動趣旨が補助に値するもので、補助金の使途が規約に基づき適切に運用されることが望まれる。

答 決算の審査結果は、各種団体にどのようにフィードバックされているか。

答 阿久比町補助金等交付規則などに基き実施し、不備な点があれば団体に改善を求める。補助金は、貴重な財源で賄われており、適正に使用されるよう、団体と情報共有を図る。

問 審査結果に不適合があった場合、どのような指導をすべきか。

答 実績報告や決算書等を審査した結果、補助金を交付目的以外に使用した可能性があった場合は、団体役員に聞き取りを行い、証拠書類の提出を求め詳細を確認する。なお不適合である場合は、交付決定の取り消しや補助金を返還してもらう場合もある。

問 補助団体である菊花連合会の役員全員が辞職するという事態になったが審査結果の町の対応は適切であったか。

答 現在もまだ調査中である。
町は菊花連合会への補助金に対する議会での指摘等を重く受けとめ阿久比町補助金等交付規則に基づき検査を行い、交付基準から外れた内容や不適切な会計処理が見受けられ、町の対応は適切である。また町から役員の辞職を求めたことはない。菊花連合会は歴史のある組織であり、良い部分の継承と補助金の使い方を見直し、今後も菊花展を自主的に運営していたけるよう町は支援していく。

総合計画の実行性

協働の仕組みづくりを推進

住民にとって大事なものは、どの政策に具体的に予算配分し実行しているのか、わかりづらい。計画と実行、そして修正をさらにわかり易く示してほしいと考える。

問 令和3年度予算の「住民の命を守る」政策に前年度予算に上積みした政策と予算額。

答 町民の「命を守るまちづくり」を最優先に進める事業として、

新型コロナウイルス感染症予防事業…
1002万円。内、新規増額分910万円。
災害対策事業…
1089万6千円。内、新規増額分692万4千円。
交通安全推進事業…
2026万5千円。内、新規増額110万円。
道路舗装工事費…
6100万円分を増額して8500万円。前年比354・2%。

問 「協働の仕組みづくり」を推進するにあたり、現状及び改善点はどうか。

答 総 施策評価に住民が参加することは重要。総合計画を評価していたため、住民アンケート調査を実施しており、今後も定期的に実施する予定。

「まちづくり懇談会」や「住民税1%町民予算枠事業」は、参加者や団体が固定されてきている。若者や子育て世代が参加しやすい方法を検討していく。また、幅広い世代の住民に、まちへの関心を持つてもらえるよう、時代に合わせた方法で積極的に情報発信をしていく。



新美三喜雄 議員
(新済会)



新型コロナワクチン接種

予約方法を見直し、個別接種を継続



問 医療従事者と高齢者の接種から見えてきた問題点や課題と、その解決策。

(ア) ワクチンの保管・運搬方法

(イ) 予約方法 (体制)

(ウ) 接種方法 (体制)

(エ) 医療機関・従事者から指摘された案件

答 町長

(ア) 保管には、冷凍庫の停電事故防止のため、蓄電池装置を購入して、事故に備えている。

運搬方法は、医療機関ごとに専用保冷ボックスに入れ、職員が運搬している。特に問題はない。

(イ) 一般向けには、予約受付対象者を区分し、コールセンター専用の電話回線 (48-0900) を設置するとともに、インターネット予約システムを導入する予定である。

(ウ) 医療従事者は保健センターで集団接種を実施した。高齢者への個別接種も順調に進んでいることから、一般の方へも個別接種を予定している。

(エ) 特に届いていない。

問 障がい者や寝たきりの方々など、交通弱者対策。

答 町長

外出が難しく、医師の往診を受けている方は、往診での接種も可能である。

通院等の支援のためのタクシー助成券や、アグピー号をご利用頂きたい。

問 消防・救急隊員への優先接種。

答 町長

医療従事者枠に含まれ、半田消防署阿久比支署の署員はすでに接種を終えている。

問 医療従事者と接種を希望する高齢者が2回目の接種を終える時期。

答 町長

医療従事者は、すでに接種を終えている。高齢者は、対象者の概ね78%の方が6月下旬に終える予定である。

今後受付ける方についても7月下旬には終えると思込んでいる。

問 一般の16歳から64歳を対象とする予約と接種の日程。その体制づくり。

答 町長

現在、高齢者の次の順位である基礎疾患のある方等の申請受付を実施している。

また、町内施設に勤務する、保育関係者・学校教員等は、クラスター発生活止と、学童・園児を守るため、優先接種の対象者として準備を進めている。

それらに該当しない一般の方は、混雑を緩和するため、年齢別等の区分けを行い、接種券の送付と、予約受付を順次行っていく予定である。

問 同一メーカーによるワクチン接種の担保方法。

答 教 同一ワクチンの継続的な供給を国や県に要望している。

地区公民館のネット環境整備

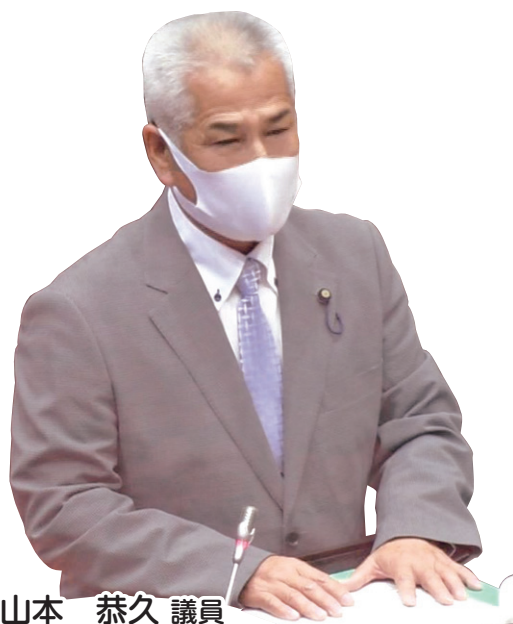
調査研究から

問 初期費用の公費負担に対する見解。

答 教

地区公民館は、避難所としての役割も担っていることから、その場合には、最新の情報を求められることが考えられる。

ネット環境は、あった方が良いとは考えるが、集会所などの兼ね合いや、財政上の課題も伴うため、関係部署と協議をしながら、調査研究を行っていく。



山本 恭久 議員
(黎生の会)

「ヤングケアラー」を早期に気づく視点

関係機関の連携を強化



子どもから「苦しい」と相談する場合は少なく潜在化しやすい。

問 実態把握をすべき。
答 国の動向を注視し検討。

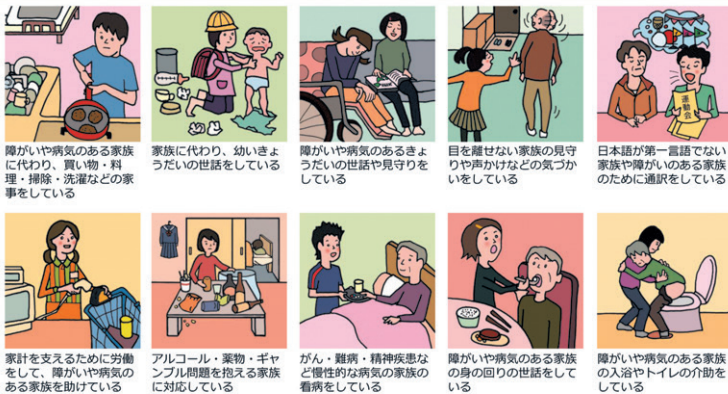
問 早期に気づく視点。
答 正しい理解を深め、関係機関に「見守りの目」を広げていく。



都築 清子 議員 (公明党)

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: izumi Shiga

問 支援体制の連携。
答 関係機関の横断的な連携強化を図り、関係する民間事業者にも働きかけていく。

問 「ヤングケアラー」の認知と周知。
答 国の啓発資料を活用し、住民や小中学生、関係団体への啓発を検討。

旧・家庭系可燃ごみ袋の活用

公共施設、給食残渣や
ゴミゼロ運動に使用予定



問 交換して集まった旧・可燃ごみ袋の活用。
答 「大」45ℓ袋は、災害ごみの排出や役場、町公共施設での活用を予定。

問 次のような活用はどうか。
答 町内企業に購入してもらい、事業系ごみ袋として使用。

答 町での活用を第一と考え、企業への販売は考えていない。

問 刈草剪定枝、プラスチックごみ、資源ごみ等の袋として使用。
答 考えていない。

問 旧可燃ごみ袋でごみが捨てられている現状を踏まえ、旧可燃ごみ袋で捨てられないよう啓発を進める。
答 紙オムツごみが出る家庭へ無償配布。

問 紙オムツごみが出る家庭へ無償配布。
答 改めて配布することとは考えていない。

(3/1~5/31現在)

大・45ℓ	中・30ℓ	小・20ℓ
249,260 枚	19,840 枚	23,490 枚

※交換して集まった旧・家庭系可燃ごみ袋の数は想像以上

ふれあいの森パターゴルフ場

年齢を問わず楽しめる施設



新型コロナウイルス感

染症の影響で、閉館や時短を行った「ふれあいの森パターゴルフ場」の大幅な見直しが必要ではないか。

問 コロナ禍において人流の制限がなされ、利用者は当然減少していると思うが、過去5年間の利用者数の推移。

問 施設を廃止もしくは変更する考え。

答 教 子どもから高齢者までが一緒に楽しめる施設であることから、廃止や変更は考えていない。

問 令和3年度当初予算に、令和2年度まで毎年「ふれあいの森パターゴルフ場改修工事」として計上されていた年間100万円程が計上されていない理由。

答 教 平成28年度2290人
平成29年度2175人
平成30年度1681人
令和元年度1460人
令和2年度1543人

問 利用者の町民と町外の人の割合。

答 教 令和2年度の町民の利用割合は24%、町外76%。

答 教 毎年1ホールずつ人工芝改修工事を行い、昨年度で9ホール全ての改修が完了したため。



山本 良輔 議員
(新風会)



ふれあいの森パターゴルフ場

議会だより編集特別委員の抱負

町民の皆さんに議会の活動をわかり易く伝えることで、町政・議会に興味を持っていただき、議会を身近に感じ、手に取っていただけるような紙面づくりを心がけたいと思っています。

竹内 卓美

議会に対する町民の関心の高まりに応えるため「あぐい議会だより」が昭和49年に創刊され、今回で第190号となりました。これからも、議会だよりを通じて、町民の皆様に議会活動を理解していただくため、見やすく、分かりやすい議会だよりを目指したいと思います。

瀧塚 政明

安心して暮らせるまちづくりは町民の願いであり、議会の果たす役割は重要です。

町民の皆様に議会へ関心を向けていただくためには、皆様と議会がより強くつながり、地方自治のことが身近なものになるよう、編集委員は議会・行政等に関することを客観的に伝え、一緒にまちづくりに務めます。

久保 秋男



この度初めて議会だよりの編集に携わります。皆様に手にとってご覧いただけるような、議会だよりにしてまいりたいと思っておりますので、お手元に届いた折にはぜひご一読いただければ幸いと存じます。

山本 良輔

議会活動をより身近に感じて頂けるよう、創刊理念を尊重し、一期目の新たな発想と工夫でより多くの町民の皆様にお知らせできるよう努力して参ります。

新美三喜雄

「議会だよりって何か難しくて硬い感じ。読むのが面倒くさい」と、思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、皆様に選んでいただいた議員達が、議会で何をしているのかを知っていただきたく「より分かりやすく読みやすい紙面」にしていきたいと思っています。

小柳みゆき

次回定例会

9月6日(月)

午前10:00～

開催予定

皆さんの傍聴をお待ちしています！

議会だより編集特別委員会
委員長 新美三喜雄
副委員長 小柳みゆき
委員 久保秋男
委員 瀧塚政明
委員 竹内卓美
委員 山本良輔

長い梅雨も明け、夏本番となりました。オリンピックも開幕となり、コロナ禍が続く中、世界の人々が日本の姿を注目しています。
さて本町も感染予防の最大の手段であるワクチン接種も順調に推移し、行政やオール阿久比で、毎日奮闘しているところです。
この議会だよりは、新たなメンバーで2年間勤めてまいります。委員一同宜しく願っています。
(新美三喜雄)

編集後記